



産業用エアーカーテン取扱説明書



- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
- この説明書は、保証書とともに大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書はかならず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。

■目次

1. 目次
2. 安全のための注意事項
3. 各部の名称と材質
4. 外形寸法と仕様
5. 製品の取付方法
6. 試運転・使用法・お手入れの仕方
7. 製品保証書



■安全のための注意事項







ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を掲載しています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

工事される方へのお願い

- 設置工事の前に、この設置マニュアルをよくお読みのうえ正しく設置してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼して下さい。
- 本体設置時に分解をしないで下さい。
電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないで下さい。
漏電やショートによる感電・火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込んで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容を示しています。

 警告	 定格電圧・定格周波数で使用して下さい。 定格電圧・定格周波数以外で使用すると火災・感電の原因になります。
	 お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切ってから行って下さい。 感電やけがの原因
	 停電のときは必ず電源を切して下さい。 停電復帰後、急に機械が急に稼働し事故を起こす原因になります。
	 アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断機器を設置してください 故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
	 絶対に分解・修理・改造を行わないで下さい。 火災、けが、感電の原因になります。



運転中は、吹出口の中や可動部に指や物をいれたり、高温部に触れたりしないで下さい。

けがややけどの原因になります。



製品を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。

感電や漏電による火災のおそれがあります。



ぬれた手で操作しないで下さい。

感電の原因になります。



湿気やほこりの多いところ、雨水のかかる場所には設置しないでください。

製品故障の原因になります。



本体にぶら下がらないでください。

落下して、けがの原因になります。



本体の取付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。

落下により、けがをする恐れがあります。



製品から変な音が出たり、振動・臭い・煙が出た場合は、直ちに運転を停止し、専門店にお問い合わせください。

予期せぬ事故の原因になります。



取付、お手入れの際には手袋を着用してください。

けがややけどの原因になります。



吹出口に目を向けないでください。(特に起動時)

ゴミなどが飛んできて目に入ることがあります。



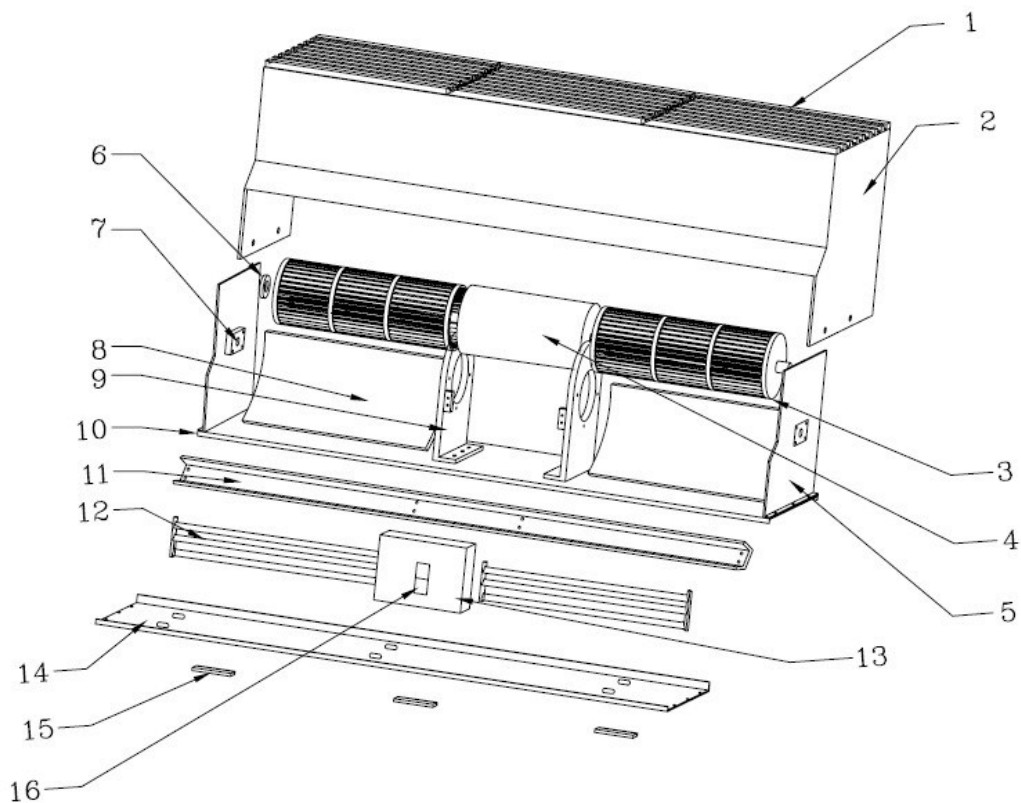
点検時などに、本体からはずした部品を落とさないよう注意してください。

落下して、けがの原因になることがあります。



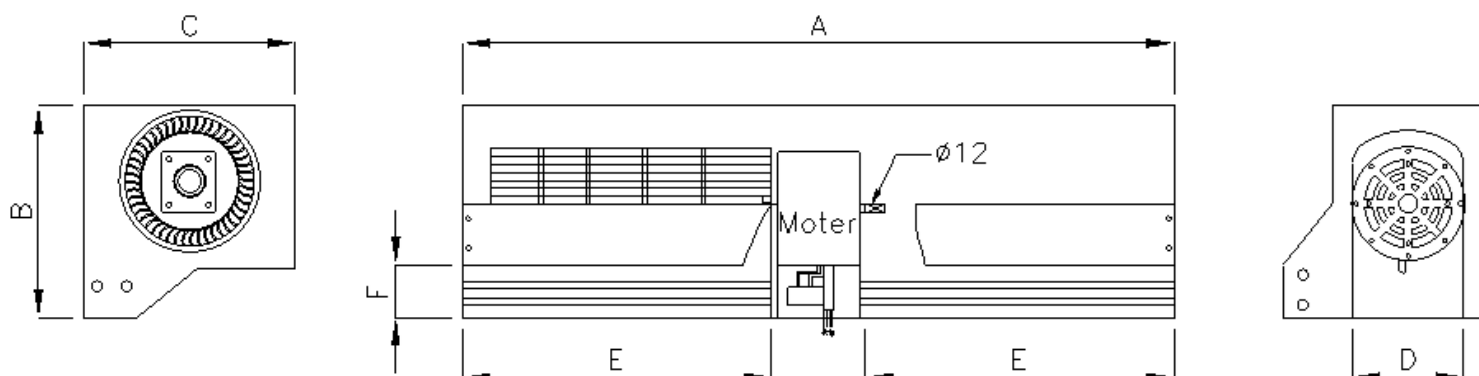
注意

■各部の名称と材質



16	1	スイッチ	ABS 樹脂
15	3	ゴムバッファ	ゴム
14	1	壁取付板	鉄
13	1	スイッチカバー	鉄
12	2	ダンパー	鉄
11	1	ガイドー	鉄
10	1	本体の背面	鉄
9	2	モーター取付板	鉄
8	2	ガイドウォール	鉄
7	2	ベアリング止め	鉄
6	2	ベアリング	鉄
5	2	側面板	鉄
4	1	モーター	鉄
3	2	ファン	PC 樹脂
2	1	ケース	鉄
1	3	グリル	ABS 樹脂
番号	数量	材質	備考

■外形寸法



型名	A	B	C	D	E	F
CB1509	900	260	250	150	380	100
CB1510	1000	260	250	150	420	100
CB1512	1200	260	250	150	530	100

(単位: mm)

■仕様

型名	電源 (v)		消費電力 (W)		風速 (m/s)		風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)		遮断距離 (m)	質量 (kg)
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
CB1509	单相 100V	強	465	500	14.5	15	2900	3000	65	66	3.5	24
		弱	445	480	11.6	12	2300	2400	63	64		
CB1510	单相 100V	強	475	510	14.5	15	3150	3300	66	67	3.5	26
		弱	465	500	11.6	12	2450	2600	64	65		
CB1512	单相 100V	強	495	530	14.5	15	3450	3600	67	68	3.5	29
		弱	475	510	11.6	12	2850	3000	65	66		

■設置時の注意事項

1. 設置開口部の間口と同一か少し長めのエアーカーテンを設置してください。
2. 標準取付け（本体水平）の場合は吹出口が下になるよう取付けてください。
3. エアーカーテンの吸込口は「取付けのすき間」に従い取り付けてください。
エアーカーテン流が生成できない、本体が壁や天井にあたり取付けできない場合があります。
4. 連続して取付ける場合、壁取付け板の間隔は「取付けのすき間」に従いすき間を空けてください。

「取付けのすき間」

壁取付けの場合の、吸込口から天井までのすき間	35mm以上
側面に壁がある場合の、壁取付け板から壁までのすき間	10mm
連続して取付ける場合の壁取付け板の間隔	20~40mm

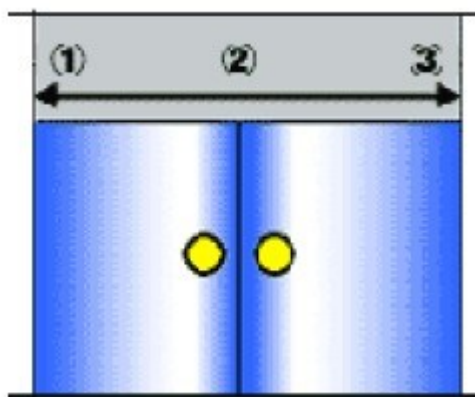
5. 振動のない堅固な場所に設置してください。
(空振・騒音 又は部品が壊れる恐れがあります。)
6. 室内に取り付けてください。
7. 気温が-10℃以下の場所、又は50度以上の場所には設置しないでください。
8. 出入り口がエアーカーテンより広い場合は、2台以上の製品を並列に取りつけてください。
9. 床面から3m以上の高さの場所に設置してください。
10. エアーカーテンを使用する場合、出入口をエア一遮断しますので、室内は必ず換気(第一種換気)を行ってください。
11. 天井埋め込みの場合は、点検のために45cm×45cmの点検口を必ず設置してください。

★次のような場所での設置・使用はおやめください。

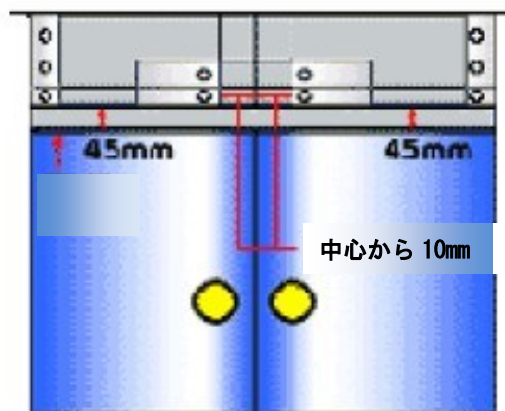
- ・ 気温が-10℃以下の場所、又は50度以上の場所
- ・ 結氷現象が発生する場所
- ・ 湿気が多い（湿度90%以上）場所又は蒸気が発生する場所
- ・ 油の煙が発生する場所
- ・ 爆発性の粉塵及びガスが発生する場所、または発生する可能性がある場所
- ・ 腐食性のガスが発生する場所
- ・ 水がかかる可能性のある場所

■ 取付方法

■ ドアの上に取り付ける場合

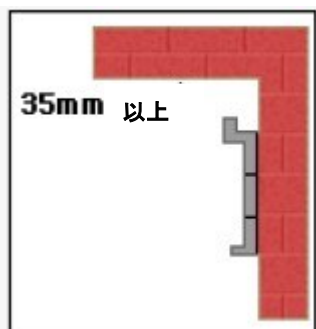


1. 開口の正確なサイズを図ります。
開口より少し横幅の長いものをお勧めします。

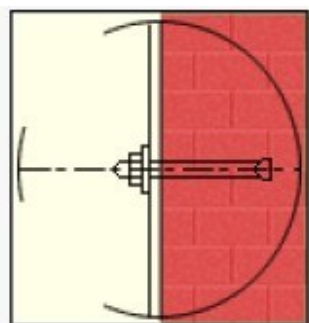


2. 壁取付け板は、ドアより 45mm 上の場所に、
2 台連続で設置する場合は、中央から
10mm ずつ離れて取り付けてください。

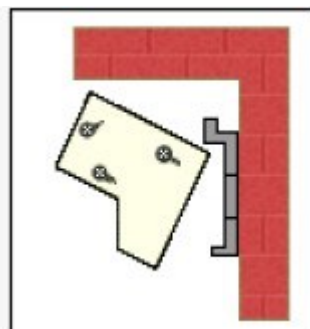
■ 壁取付の場合



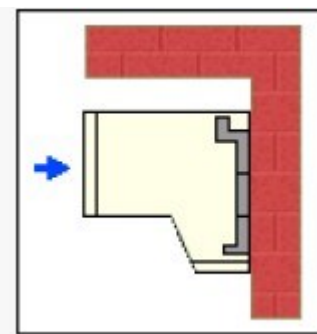
天井から 35mm 以上離れて
壁取付け板を取り付けます。



★★壁取付け板は、
アンカボルトを使って
取り付けてください。

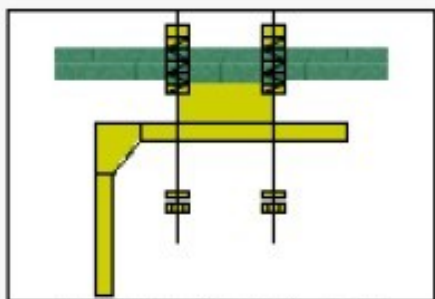


本体を取り付けます。

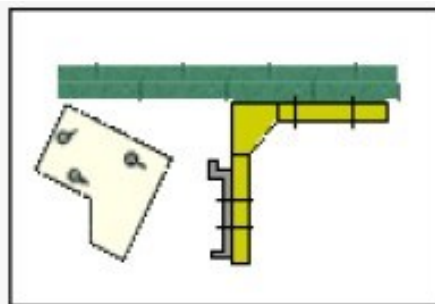


本体と壁取付け板をネジで
固定します。

■ 天井取付の場合



先に天吊金具を天井に取り付
めます。



天吊金具に壁取付け板を取付けた後、
その上に本体を取り付けます。
ネジで本体と取付け板を固定します。

■ 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実に振動・異常音がないか確認してください。

■ 使用方法

1. 電源スイッチ ON を押すと作動が始まります。
2. スイッチは High と Low の2段調節方式です。
3. 強弱切替運転の時、押しボタンで速度を調節してください。
4. 状況によってダンパを調節してください。
5. 作動を止めるためには、電源スイッチの OFF を押してください。

■ 手入れの仕方

1. 1ヶ月に1回はフィルタとグリルの掃除を行ってください。
2. 中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れを引き取り、洗剤が残らないように乾いた布できれいにふき取ってください。

★製品を点検・手入れする時は、必ず電源を消してください。

（ケガや感電の原因になります）

★手入れの時は、必ず手袋を着用してください（指をけがする危険性があります）

★お手入れの際、下記の溶剤は使用しないでください。

：シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、
科学ぞうきんの薬剤。

★絶対濡れた手で機器をさわらないでください（感電の原因になります）

★機器に水をかけないでください（感電の原因になります）

★本体にぶら下がらないでください（落下によるケガの原因になります）

★電源コードが壊れた場合は、事故防止のため代理店さま、または有資格者である電気工事士さまに連絡をし、電源コードの取り換えを行ってください。